

〔『法学新報』第33卷8(380)号 大正12年8月1日〕

○天野徳也君送別会 本誌記者として編輯事務を担当し且つ教授及び図書課長として多年尽力せられたる天野徳也君は今回留学生として法律学研究の爲め独逸に向け出発することとなりたるにより知友相会して去月十二日午後六時より上野精養軒に於て同君の爲めに送別会を開きたり当日の出席者は、一又安平、石井清、井上勝好、林頼三郎、原嘉道、花井卓藏、濱田國松、花本菊次郎、花本福次郎、西川一男、新田法教、西原要、細野繁勝、堀竹雄、千葉卯源太、大島淳三郎、尾崎利中、小倉敬止、大西光治、奥田剛郎、鬼澤藏之助、太田哲三、太内省三郎、尾崎金次、大松直重、渡邊福三郎、藁谷政雄、早稻田逸郎、河野秀男、加瀬禎逸、川手忠義、川井金一郎、吉田久、谷村唯一、武田明、田中文藏、高窪喜八郎、高木信威、辻本友次郎、長瀬秀吉、長島毅、橋崎敏雄、村上恭一、内田清吉、梅原喜太郎、卜部喜太郎、野口源伍、桑田熊藏、柳田宗一郎、山田三郎、二上兵治、福田市太郎、後藤傳兵衛、小山哲四郎、江川六兵衛、海老原重、寺田四郎、寺島由松、阿部文二郎、朝比奈孝一、新井要太郎、安達元之助、東一雄、阿部彌一郎、佐藤正之、佐藤駒太郎、坂本萬作、坂井金藏、坂芳市、木下謙次郎、水島房吉、三浦義道、宮岡恒次郎、三根谷實藏、柴田廣吉、鹽阪雄策、柴田武、白土幸力、志賀三行、樋貝詮三、日永悌三、持田諫、鈴木善雄の諸氏にして宴の「デザートコース」に入る

や花井博士發起人を代表して送別の辞を述べ天野君の答辞あり次きて林頼三郎、卜部喜太郎、堀竹雄、宮岡恒次郎、水島房吉、梅原喜太郎、高窪喜八郎の諸氏順次起ちて所感を述べ尚ほ別席に於て歓談を爲して散会したり